

大学に行きたいけれど行けない

ふるさと納税で奨学金を

高校生との意見交換会で、生徒の悲痛な叫び

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

つなぐ

発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



この夏、小郡市議会は市内の小郡高校、三井高校の生徒54人と意見交換会を行いました。多くの高校生から将来に対する不安として、進学にかかる経済的負担の重さが出されました。特にひとり親家庭は所得も低く生活していくのがやっつとで、生徒の中には大学に進学したいけれど、大丈夫だろうかと思いい悩む姿がありました。しんばる議員は一般質問で、今後小郡市が力を入れようとしている「ふるさと納税」を活用した奨学金をつくってはどうかと提案しました。

ひとり親家庭の平均年収 250万円以下

厚生労働省の調査では、ひとり親家庭の貧困率は50%を超えており、先進国の中で最悪です。このようななか、大学や専門学校等への進学率は、一般家庭が80%に対してひとり親家庭の生徒は約41%と半数にすぎません。国立大学であつても入学した年の入学金と授業料だけでおよそ80万円にもなり、あきらめている子どもたちがたくさんいます。

貸与奨学金で多額の借金

高校3年間、大学4年間、貸与奨学金を借りた場合、卒業時に子どもが抱える借金総額は300万円を超えます。就職して毎月返済する金額は、高校60000円を9年間、大学136000円を15年間です。これに20歳からの年金掛け金猶予分の納付額164900円を足せば、毎月36090円にもなります。今の日本は若者にこんなにも大きな重荷を背負わせているのです。

国は給付奨学金の充実を

国は、平成30年度から経済的理由で大学等への進学をあきらめている生徒を対象に給付型奨学金を始め、生活を決めました。これは生活保護やひとり親の家庭、養護施設の生徒など経済的支援を必要とする人たちに、返済しないでもよい奨学金を支給する制度です。ただ、対象となる生徒はまだまだ限られており、今後、より多くの生徒が安心して学ぶことができるような制度にしていくことが課題です。欧米では、すでに給付型の奨学金制度が整っていて、学びたい人たちが支援しています。この点で高等教育が家計の責任にされている日本は、大きく立ち遅れています。

県内11自治体に奨学金

小郡市には、以前井手宗夫奨学金がありました。高校生に毎月1万円支給するものでしたが、基金がなく

なり平成28年度で廃止になりました。しかし、子どもたちの生活の困窮の度合いは以前にもまして深まっています。朝倉市や筑紫野市なども独自の奨学金制度をつくっています。

ふるさと納税で奨学金

全国77自治体

いま話題の「ふるさと納税」はもともとのお世話になったふるさとへの恩返しという意味合いを持っていました。小郡市は、本年度のふるさと納税目標額を昨年のおよそ2倍の6000万円としています。この一部を奨学金に活用することは、ふるさと納税の趣旨にも合います。実際、全国77の自治体がこのふるさと納税を奨学金に活用しています。教育長は、「現在庁内奨学金検討委員会で検討を行っています。国でも議論がなされているので、その動向と整合性を図りながら進めます」と答弁しました。

部活動に追い詰められる中学校教員

学校が壊れる

8月29日、中教審「学校における働き方改革に係る緊急提言」

8月29日、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の「学校における働き方改革特別委員会」は、「緊急提言」を発表しました。実態調査の結果、中学校教員の6割、小学校教員の4割が過労死状態にあるということが分かったからです。このことは、これまで何度もしんばる議員が指摘してきたことです。国で働き方改革や過労死対策が議論される中、いよいよ放置できなくなったのです。しんばる議員は、この緊急提言を受け小郡市教育委員会はどうかをたどりました。

中学校6割が過労死状態

緊急提言では中学校教員の長時間労働の原因として部活動が指摘されています。「朝練」前の午前6時半過ぎに出勤し、日中は授業と生徒指導等過密な業務をこなし、夕方6時半まで部活動をみて、午後7時ごろから8時〜9時まで学校に残って仕事をし、終わらなければ家に持ち帰って仕事をするとという毎日です。しかも、土日には対外練習試合の引率で休みなし。これでは、教員の心身がもつわけがありません。教員の家庭も大きな犠牲を強いられており「部活未亡人」ということばさえあるぐらいです。

タイムカードで勤務時間の把握を

教員には残業手当がないため、管理職が教員それぞれの勤務時間を把握し、適正に管理するという責任があいまいになっています。つまり、限られた時間と賃金（残業手当）内で業務計画を立てるというマネジメントがほとんど機能していません。だから、教員がどんなに時間外に仕事をしてもみんな自主的にやっているという扱いにされています。こういう慣習を根本的に変えなくてはなりません。そのために教育委員会をもっとリーダーシップを果たすべきです。

既に犠牲者が

しんばる議員は、昨年、市内の中学校教員が部活動指導などで無理を重ね病気で死亡した事例を上げ、教員の命にかかわる問題であると指摘しました。これに対し教育長は、「ノー部活デー」を週1回、土日に月2回以上徹底し、29年度に文部科学省が作成する部活動ガイドラインを踏まえ、校長会等とも意見交換し、長時間労働の縮減に向けて取り組みます。また、中体連の試合の適正化と同時に、各種協会が実施するものに

ついては、県とぜひ協議をしていきたいと思えます。管理職に対する意識づけは、これまでも校長会で、時間外勤務に関する法令上の根拠や安全衛生委員会の資料をもとに指導を行ってきました。また、学校訪問の際、管理職をはじめ全職員に啓発を行ってきました。今年度は各学校で、1学期の状況を踏まえ業務改善を検討することとしています。今後、管理職に対する勤務時間管理等の研修会を行っていきたく考えています。」と答弁しました。



週刊東洋経済 特集「学校が壊れる」

あなたは憲法9条を変えますか？

若者よ、選挙に行こう

結果本位の(何もしない)仕事人内閣総理大臣

安倍首相の公約 こちらがホンネ

1 森友・加計問題をウヤムヤにします

こんな問題なんか小さいことです。親しい友人の加計さんや日本会議の役員だった籠池さんの応援をしたことのどこが悪いんですか。妻の昭恵だって、私の考えに賛同して一生懸命手伝ってくれていたんです。それが美しい日本のかたちです。それに当時の理財局長だった佐川さんだって問題ないって言い通したでしょう。だから、国税庁長官にしてあげたんです。そして妻の秘書だった人はイタリア大使館へ栄転です。まったく問題ありません。

2 偉大なトランプ大統領の一番の友人として北朝鮮に戦争をけしかけます

「北朝鮮を完全に破壊」素晴らしいことばです。まさに私が言いたかったことをトランプ大統領が言ってくれました。あんなわけのわからない国はやっつけなくてはなりません。対話なんて生ぬるいんです。戦争になっても仕方ありません。全部「ロケットマン」の金正恩が悪いんです。だから、日本も憲法を変えて堂々と戦争ができるようにしなくてはなりません。やっぱり最後は軍事力がものを言います。そのために私は防衛費を史上最大の5兆円以上に増やしました。もっともっと軍事力を整備し周りの国から恐れられ手出しできないようにします。

3 何が何でも憲法を変えます

私が誰より尊敬する岸信介おじいちゃんの悲願だった憲法改正をやりたい。どの部分でもいいんです。とりあえず国民が一番賛成してくれそうところから手を付けます。私が総裁をしている自民党は草案を作りましたが、もうあんなのどうでもいいんです。石破さんがごちゃごちゃ言っていますが、とにかく私は憲法を変えられればそれだけで満足です。

4 アベノミクスの化けの皮を2枚にします

アベノミクスで株価は上がり、景気もいざなぎ景気を超えたと言っているでしょう。お金持ちや大企業はもうかって大喜びしているじゃないですか。庶民の皆さんは、その雰囲気にも浸ることが大切なんです。そうすれば自分もいつかおこぼれに預かると思ってつい財布のひもをゆるくしてしまうでしょう。そうすれば消費も拡大しすべてよしです。私は異次元の金融緩和という、こわくて誰もやらなかった政策をまだまだやり続けます。でも素人にはそのこわさは見えませんから安心してください。国の借金是世界一です。なんでも世界一っていいもんです。財政再建は、そのうち何とかなるでしょう。

この1さつ



死ぬほど読書

丹羽宇一郎 著

インターネットの普及で、知りたい情報はただで簡単に手に入る時代になりました。大学生の論文もネット情報をつなぎ合わせてというのが増えているそうです。確かに、忙しい中、1冊の本をまるごと読むひまは惜

しい気もします。しかし、著者はこの無駄に見える時間こそが自分を豊かにしてくれると言います。伊藤忠商事の社長として倒産の危機を救い、中国大使をつとめた無類の読書家である著者の実体験に裏付けられた

読書の話は興味深く説得力があります。本を読むという事はただ欲しい情報を受け取るのではなく対話し考えるということ。秋の夜長、じっくり本を読んでもみようという気にさせられました。

8月18日、辺野古で座り込み 初めて知った沖縄の真実 沖縄の熱い思いを知る

沖縄経済は

基地依存ではない

8月、社民党全国研修会が沖縄県那覇市で開催され参加しました。初日、富川副知事の「沖縄経済と米軍基地」の講演がありました。富川氏は元沖縄国際大学長の経済学者で、さまざまな経済データをもとに現在の沖縄経済における基地依存率は約5%であることを示されました。

これまで、沖縄経済が基地関係交付金や労働者の基地雇用によって成り立っていると思いついていただけに目からうろこの話でした。その上で富川副知事は、今後基地が返還され、民生利利用が広く行われれば、沖縄

経済は今以上に発展するであろうと述べられました。富川氏の「経済的に沖縄は、日本の辺境ではない。アジアの中心である」のこ

とばに沖縄に対するゆるぎない誇りと信念、愛情を感じました。

海兵隊は

沖縄駐留の必要なし

沖縄の米軍基地で最も広い面積を占めているのは海兵隊です。普天間飛行場や辺野古のあるキャンプシュワブ、高江の北部訓練場などです。嘉手納基地は空軍です。今回の研修で認識を新たにしたのは、海兵隊は即応展開部隊として常に太平洋を移動しており沖縄に

駐留する軍事的意味は小さいということ。むしろ、日本政府が政治的な理由から要請していることが大きいといえます。沖縄県外の私たちがいかに、沖縄の真実を知らないか思い知らされました。



議会いぼれ話

見城副市長誕生

6月議会に加地市長が提案し、議会から7対10で少数否決されていた見城副市長が、改めて8月4日に開かれた臨時議会で12対5の賛成多数で承認されました。6月議会後、多くの市民から電話や手紙等で賛否両論が寄せられました。認めるべきの代表的なものは、「停滞している小郡市政を変えるために外部人材を登用すべき」というもので、反対意見は、「小郡の地域事情をよく知っている地元人材を」というものでした。どちらにしても、市民や職員との信頼関係を築き、「この副市長と一緒に頑張ってみよう」という気にさせられるかどうかです。この点の重要性は加地市長にも伝えました。副市長不在で市政の停滞はよくないとの判断もあり見城氏承認となりました。（よし）